

平成29年度 宮城県栄養士会並びに
宮城県栄養士設置市町村連絡協議会合同研修会

生涯教育実務研修 90-110

行政栄養士として、コミュニケーション力をどう磨くか
—「食コーチング」の視点から—

講師 食コーチングプログラムス主宰
食コーチ 管理栄養士 影山 なお子 氏

平成30年1月10日 仙台市宮城野区榴岡のアゼリアヒルズ17F アゼリアホールにて宮城県栄養士設置市町村連絡協議会と合同で研修会が開催され、55名の方に参加をいただきました。

今回の研修会は、食コーチングプログラムス主宰 食コーチ 管理栄養士 影山 なお子 氏より「行政栄養士として、コミュニケーション力をどう磨くか—“食コーチング”の視点から—」をテーマに開催しました。食事相談や健康相談では「問いかけ」が大事であり、聞かれたことに対して、様々な角度から問いかけを行い、相手の可能性を広げる聞き方ができるようになるとよいこと、また、栄養士は健康を「カタチ」として示す人であり、化粧や服装なども大事になるなど、コミュニケーション力を高めるためには、食や栄養の話だけでなく、幅広い視

点からの会話ができることの他、非言語のコミュニケーション力も大事であることを学びました。



参加者からは、「食事相談だと、すぐ結論を出してしまって問いかけが不足していたり、栄養のことばかり伝えたくてしまいがちでしたが、研修を受けて大変勉強になりました」、「栄養士にとってコミュニケーション力は大切であると感じていましたが、実際にどのように良いコミュニケーションをとるにはどのようにしたらいいのか悩んでいました。今回の研修ではそのコツを教えていただいたことでヒントを得ることができました。今後は、「問いかけ」の引き出しを増やしていきたいと思います」などの声がありました。



(文責 庄子 聡子)